

教育振興事業ダイジェスト

公益財団法人日本教育公務員弘済会岐阜支部が行う教育振興事業は、「最終受益者は子どもたち」という理念の下で進められています。前ページでは「奨学事業」「特別学校助成事業」、本ページでは「学校研究助成事業」「へき地・複式学校教育支援事業」「奨励金助成事業」の実践の一部を紹介しています。

■ 給付奨学生：県立普通科高校1年生 給付奨学金

私は、給付奨学生の決定を受けて、自分への自信と学校生活への決意が生まれました。担任の先生が私を奨学生として推薦して下さった時、他の先生も授業を頑張っている姿がふさわしいと賛成してくださったと伺いました。先生方が私を信用して推薦して下さっていることを知り、それを聞いただけで本当に嬉しい気持ちになりました。そのため、先生方の期待に応えられるようにしっかりと努力し、さらにはその期待を超えられるよう一倍頑張っていくという強い決意につながりました。

今まで、「私は外国人だから……」など自分を少し下に見てしまうことがありました。特に中学生の時は、勉強が苦手で、テストの点数もなかなか伸びない時期が続き、どんなに頑張っても無理なのではないかと諦めかけてしまった時もあります。ですが、今は高校生になり、新たに気持ちを入れ替え、できることは一生懸命頑張ろうという思いで勉強や部活に取り組んでいます。

そんな今、この給付奨学生の決定を受けて、自分もやればできるんだという大きな自信につながりました。小さなことでも努力を積み重ねることで、結果に結びつく実感したので、これからの高校生活においても、さらにレベルアップできるよう自分を信じて頑張りたいです。

■ 岐阜市立長良小学校 特別学校助成

今回の助成では、新しくなった国語の教科書の中で紹介されている本、通常ではなかなか購入できない様々なシリーズ本、子どもたちに人気がありよく貸し出されるため傷みの進みが激しい本などを補充していただき、図書室の蔵書が充実しました。

図書活動を担当する子たちは、おすすめの本を子ども同士がガガキで紹介し合う「読書ゆうびん」や、担当クラスへ学級文庫を届ける「出前図書」など、アイデア豊かな活動に取り組んでいます。

また、6年生が毎年受講する絵本作家高島純先生の楽しいワークショップ、保護者や地域ボランティアの方々による「読み聞かせ」などの取り組みも行われています。

令和元年度新築の本校の図書室は、パソコン室と一体化されており、子どもたちが学習における様々な情報を収集・活用できる学習情報センターとしても活用されています。



■ 飛騨市立神岡中学校 特別学校助成

弘済会からは、キャリア教育関連シリーズ本、生きものふしぎ図鑑等を助成いただいております。調べ学習の充実に役立っています。

本校では、生徒が使いやすい、生徒を主体とした図書館づくりを心がけています。図書館の本棚の配置では、1分類から9分類へと番号順に本を並べるのではなく、生徒が使いやすいように並べています。例えば、「社会」の棚は、「3社会科学」「5技術」「6産業」と並べて「日本の暮らし」というコーナーにしています。また、棚づくりにおいては、分類の言葉をイラストに置き換えた「イラスト分類シール」を作成し、本の背に貼って誰でも元の棚へ本を返すことができるようにしています。

毎月「月見」「鏡餅」「茶碗・練りきり梅」「ハロウィン」「バレンタイン」「伝統芸能」「世界エイズデー」等のコーナーを設けて、さまざまな分野の本の紹介もしています。



■ 岐阜県立各務原西高等学校 特別学校助成

今回は、「ビジュアル版世界の歴史大年表」「ビジュアル物理全史」「ビジュアル数学全史」等生徒が興味を持ちやすいビジュアル版の本の補充、テーマ毎の事典・辞典等の新調を中心に助成いただきました。

本校では生徒による図書活動が活発で、図書委員が「よむよむザウルス」という図書館だよりを発行しています。「新年1発目に読みたい感動の名作をPICK UP!」「アニメ映画化特集」「有栖川有栖特集～ミステリー小説～」等毎回工夫を凝らしたテーマで作成され、生徒間でも好評です。令和2年度岐阜県図書館だよりコンクールでは中日賞を受賞しました。

図書館の中央には貸出カウンターが設置され、新着本コーナーがあります。このカウンターを起点に、興味に応じてどの書架へも行きやすく、またどの書架からも相談に来やすくするという配慮がされています。



■ 高山市立朝日小学校 へき地・複式学校教育支援

本校ではバス通学者が多く、体力低下が懸念されており、その解消のために朝マラソンや冬場のなわとびを取り入れています。そのため、基礎体力は高いが、ハードルやマット運動といった体のバランスをとる動きが苦手な児童が多くいます。それらの運動に必要な器具を今回助成いただいたので、体育の時間などで活用しています。

手形・足形プレートはマット運動や跳び箱、高跳びでの他、コロナ感染症対策として手洗い場の前でも利用しています。ポップアップサッカーゴールは、低学年のボールを転がす的としても利用しています。マウンテンボール運動遊びセットは、サーキットトレーニングでも利用しています。



■ 関ヶ原町立今須中学校 学校研究助成

令和3年3月31日の閉校を迎えるにあたって、令和2年度生徒会執行部は、地域にとっても誇りである今須小中学校の締めくくりとして「閉校記念制作」を計画しました。木彫レリーフで壁面を飾る作品を作ることになり、原画を作成するにあたっては、「今須小中が見える風景」と題したフォトコンテストが計画されました。今須小中学校の児童生徒に呼びかけ、助成いただいたデジタルカメラを使ってベストショットを撮影してもらいました。各学級で選んだ自慢の1枚を一堂に掲示して、投票で原画を決定しました。

その後、美術科の先生の指導を受けながら彫り方を学び、小学生と一緒に制作をし、心に残る作品を完成させました。



■ 岐阜県立大垣桜高等学校 学校研究助成

服飾デザイン科では、今回助成のタブレット・照明器具を活用して科目「生活産業情報」で授業実践をしました。

iPadの無料アプリ「Keynote」「iMovie」の基本操作を学習し、発展的な学習で服飾デザイン科の学習PR動画を作成しました。学習内容の一つである「ジャケット製作」では、布の裁断、芯はり、仮縫い、縫製等の段階を動画で撮影し編集しました。撮影用背景紙(白)を据えてライトを当てることで、より素敵な作品として撮影できました。

生徒が製作した動画を編集して中学生向けの学科紹介動画を作成することができましたので、高校見学会で使用しました。



■ 岐阜県立恵那特別支援学校 学校研究助成

高等部では、「働く人になろう」を目標として卒業後の自立と社会参加を目指して作業学習に力を入れています。

窯業班では、今回エアコンプレッサーを助成いただき、施釉をする前に細かな埃を取り除くことができ、釉薬をむらなく付けることが可能になりました。また、2種類の釉薬を同時に吹き付けることもできるようになりました。綺麗なグラデーションが可能となり、クオリティの高い製品が製作できるようになりました。

クリーンサービス班ではダストクロスモップ、木工班では小型ボール盤が今回の助成で補充され、生徒が主体的に作業する姿が見られ、働く意欲の向上につながりました。



■ 郡上鮎の会 奨励金助成

当会は、2014年郡上市立八幡中学校の当時3年生生徒5名が発案した「中高生鮎釣り選手権」の企画運営を支える組織として発足しました。

「中高生鮎釣り選手権」は翌年から毎年開催され、出場選手は今までに延べ120名以上です。出場選手の半数以上は友釣り未経験者のため、事前に行う座学講習会で鮎釣りに必要な道具・釣法、鮎の生態や川の安心な過ごし方などを学習します。その翌日行う実釣講習会では講師の指導を受けながら実践練習をします。実践を繰り返すことで、自立した鮎釣りができるようになります。大会当日は、予選3時間、上位8名による決勝が2時間行われます。

出場選手の半数は毎年参加するほど釣り好きになっています。多くの若者が川に親しみ、川を愛するようになることが大切であると考えています。

